

# 学校だより わかかさ

## 高等部 卒業式 式辞



冬の寒さも和らぎ、早春の柔らかな日差しを浴びて、校門に続く坂道の桜も、今にも花を開かせようとするのを待っているようです。

この春の息吹を感じる佳き日に、「ご来賓、保護者、ご家族の皆さまをお迎えし、高知若草特別支援学校高等部 卒業証書授与式を挙行できますことに、深く感謝申し上げますとともに、心からのお祝いをしたと思います。」

先ほど七名の卒業生に卒業証書をお渡しいたしました。卒業生の皆さん、本当におめでとうございます。この三年間は、学校生活の仕上げとなる最高学部の生徒として、厳しい学習や活動にもあえて取り組み、心や体を鍛え、粘り強く努力を重ねてきました。特に今年は、新型コロナウイルス感染症の流行のため四月当初から臨時休業が続き、その後も行事や学習活動が思う存分できない時期もありましたが、皆さんの姿はいつも前向きで、一生懸命でした。今手にした卒業証書は、その努力の証でもあります。どうか、若草でのたくさんの思い出とともに、いつまでも大切にしてください。

卒業生の皆さんは、若草で過ごした時間はそれぞれ違いますが、高等部での三年間で、たくさんの知識を得、経験を重ね、立派に成長されました。

A組の足達向夏花さん、北村由姫乃さん。小学部からのクラスメートの二人は、体調や環境の変化も乗り越え、いつもたくさんの友だちや先生に囲まれ、人との関わりを楽しみながら、学習に取り組みました。ますます眼差しや笑顔で楽しいことや充実感を伝えてくれました。

山下こうきさん、この一年は訪問学級から通学生として、学校での授業を最後まで頑張ったこと、そして二年生の時には目標としていた東京への修学旅行で大きく成長を感じることができました。

三人の皆さんがこれまで頑張ってきたことを、自らの生活を広げてくれたことは、これからの生活を支えてくれる確かな学びとなりました。

次に、C組の氏次末湖都さん。美湖都さんは、いつも周りの人に積極的に関わり、一緒に楽しんだり、強い意思をもって希望や感謝の気持ちを伝えたりすることができました。

D組の大島隼さん、田中美妃さん。二人はどんな学習にも興味をもって全力で取り組み、後輩たちを引っばってくれる存在でした。J&Bを使った学習にも取り組み、操作はもちろん、社会のニュースなどにも関心を持つようになりとても頼もしく

く思います。

三人の皆さんの毎日を楽しみ、努力を惜しまず、相手を思いやる気持ちを忘れない、そんな姿は、これからの社会を生き抜く素晴らしい力だと確信しています。

そして、F組の濱田美咲さん。進路や学習、人間関係などに悩むこともありましたが、一步一步着実に学習や生活を重ねてきました。卒業後、地域で自らがどう生活するかをイメージしたプレゼンの作成にも取り組み、応募したコンクールでは、高い評価もいただきました。周囲を和やかにしてくれる美咲さん、車いすレースに挑戦する等行動力も素晴らしいです。

私たち教職員一同、皆さんを大変誇りに思うとともに、後に続く在校生にとっても頼もしく、尊敬できる先輩でした。

そして、皆さんには、これまで多くの支えがあったことを忘れないでください。これからは、皆さんが誰かを支える人、「あなたがいなくてよかった」と思ってもらえる存在になってください。そのためにもこれからも「学び続けること」、「感謝の気持ちをもつこと」、「そして、「笑顔」を絶やさない」ことも、一層大切にして欲しいと思います。

また、これから進む道のりの途中には、立ち止まったり、後戻りしたりするときもあるでしょう。でも、その試練を一つ一つ乗り越える力

と強い心を、皆さんはこの若草で培ってきました。そのことに自信をもち一歩一歩前に進んでいってください。

保護者の皆さま、ご家族の皆さま、ご卒業、誠におめでとうございます。これまでの日々を思いお喜びもひとしおのことと存じます。私ども教職員一丸となって教育に当たってまいりました。何かと、至らぬ点もございましたが、ともに今日の日を迎えることができましたのも、皆様の深い愛情と心の支えのおかげと感謝の気持ちでいっぱいです。

また、本日ご臨席を賜りました本校PTA上野会長様におかれましては、ご多用にもかかわらず、卒業生の前途を祝福していただき誠にありがとうございました。今後引き続き子供たちの成長を支え、見守っていただきますようお願い申し上げます。

さあ皆さん、いよいよ旅立ちの 때가やってきました。若草で過ごした日々や絆を胸に、勇気を出して、飛び立ってください。私たちは、皆さんの未来が、希望と幸せに満ちたものとなることを心から願ひ、いつまでもあなた方を応援し続けることをお約束し、式辞といたします。

令和三年三月十六日

高知県立高知若草特別支援学校校長

橋本 典子

小学部「6年生を送る会」

3月8日(月)、小学部では「6年生を送る会」を行いました。

卒業生の好きなキラキラ・ひらひらする物で飾られたブレイルーム。卒業生は『ブンバボン』の曲に合わせて、軽やかな足取りで入場しました。最高のスマイルで在校生が作った花道が一気に華やかになるとともに歓声と拍手で包まれました。

みんなの前で卒業生が紹介された後、5年生からお祝いの言葉とプレゼントが送られました。クラスメートがプラ船で運んでくれたプレゼント箱にはとても大きなキラキラした玉が。在校生が力を合わせてたくさんのおイル紙をちぎり、それを重ねて貼り付けたものです。卒業生はそれが手元にくると体を弾ませ声を出して喜んでいました。卒業生からは、在校生一人ひとりにキーホルダーが贈られました。先生と一緒に丁寧に作られた可愛いプレゼントでした。その後は、みんなで「卒業生の思い出のアルバム(スライドショー)」を見ました。そして最後に、『炎』『アンパンマンマーチ』『夢をかなえてドラえもん』の音楽の生演奏のプレゼントがありました。

卒業生は座席から立ち上がり、木琴やピアノに駆け寄り、満面の笑みで演奏を楽しんでいました。卒業生の笑顔に癒された楽しい時間となりました。中学生になっても、頑張ってください。

(小学部 斧山明奈)



中学部「卒業生を送る会」

3月5日(金)、学部参観を兼ねた「中学部卒業生を送る会」を行いました。今年度は2名が中学部を巣立っていきます。卒業生からの思い出や高等部に向けての宣言を聞いていると、中学部で過ごした3年間の様子が浮かび、もうすぐ卒業なのだなどという寂しさが改めて込み上げてきました。卒業生のみなさん、在

校生が心を込めて染めた手提げ袋を大切に使うてくださいね。昨年度と違い、今年度は卒業式に在校生も参加することができたため、たくさん的人数で卒業生を送り出すことができずでよかったです。

(中学部主事 山本洋平)



高3生による絵本の読み聞かせ

3月5日(金)、高等部F組の高3生1名が、「国語表現」の授業で取り組んだ「絵本の読み聞かせ」を小学

部でしてくれました。高3生による絵本の読み聞かせも今年度で4回目となりました。

自分でストーリーを考え、イラストや写真を使って作成したスライドを操作しながら、2本のお話を聞かせてくれました。浦島太郎が助けた亀は実は竜宮城の乙姫が変身していた亀で、竜宮城に招待された浦島太郎と乙姫が結婚して幸せに暮らしたという「浦島太郎異聞」亀になつた乙姫のお話と、プロの作曲家を目指している30歳の青年が自分の人生を考える『音の楽園』という少し大人なお話でした。

高等部のお姉さんの読み聞かせに、小学部の児童はどの子も静かに聞き入り、時にはスライドの画面を見て「かめ」「けっこん」「チーン(コンビニのレジ)」などと絵本の中の言葉を楽しみながら、みんな本当によく見て聞いていました。お話が終わると「かめ」とアンコールをして、もう一度読んでもらいました。最後に、高3生が準備してくれていたアンケートに、児童一人一人が面白かったお話に丸をつけて感想を書き、お礼とともに渡しました。

今年一人きりでの読み聞かせで、最初はすごく緊張されていますが、読み始めるととても聞きやすくはつきりした声で感情も豊かに語ってくれ、本当に素晴らしい発表でした。「今日が一番良かった。」と指導者の高等部の教員も感慨深そうでした。(小学部主事 堀ゆかり)



**寄宿舎の行事**

**【避難訓練】**

1月12日(火)午後3時30分ごろ、震度の6強の地震が発生し、厨房より火災も発生。北斜面も崩落の危険性がある。」という想定で避難訓練を行いました。  
 3学期が始まった初日の宿泊日でしたが、緊急地震速報の放送が流れるとすぐ避難態勢をとり、指導員の指示をよく聞き落ち着いて避難することができていました。月に1回行われる全体会で防災頭巾を被ることが定着し、被ることに戸惑うこともなくなってきました。参加してくれた副校長先生からは、感染対策もしっかりとらながら避難できて

いたと講評がありました

**【新年会】**

今年の新年会は、1月18日(月)、3グループ、3部屋に分かれて映画鑑賞を行いました。観たい映画を各グループで話し合い【君の名は】【僕らの7日間戦争】【美女と野獣】をそれぞれで鑑賞しました。いつもの部屋が映画館になり、スクリーンに映し出された大きな映像とスピーカーから流れる迫力のあるサウンドに感動の声も上がっていました。夕食時間を挟んで最後まで鑑賞し、「観られてよかった。」「おもしろかった。」という感想が聞かれました。

**【節分】**

今年の寄宿舎節分は、2月1日(月)、『鬼滅の刃』のストーリーに沿った鬼退治を行いました。  
 鬼にされた「ねずこ」を人間に戻すため、炭治郎と一緒に鬼退治をしてくれる人を探して各舎室を回り、舎室と炭治郎で鬼を退治していきました。各舎室ではみんなが新聞ポールで鬼を退治し、最後にはねずこに戻ることができました。炭治郎とねずこは各舎室へお礼を言って回り、おやつのためごぼうを配りました。鬼退治の間は「鬼滅の刃」の歌が流れるなど楽しく行いました。

**【高3生とのお別れ会】**

3月10日(水)に、寄宿舎卒業生とのお別れ会をしました。イントロクイズや出し物で親睦を深め、そ

の後在舎生からの送る言葉のビデオレター、プレゼント渡し、家族からの手紙、卒業生からのことばと続き、和やかに卒業生の新たな門出をお祝いしました。

濱田美咲さん、これからもお元気で幸せに過ごしてください。

(寮務主任 中島伸一郎)

**高知龍馬リレーマラソン with よさこい(ファンラン)**

今年のファンランは、2月21日(日)晴天の中、実施されました。車いすの部の出場者16名のうち本校児童生徒が8名を占めました。400メートルのトラックを3周(1.2km)全員が完走しました。

応援の教員に手を振ったり、風や振動の心地よさに笑顔になったり、それぞれが走ることを楽しみ、まさにファンランそのものでした。ゴール後には完走した充実感に満ち溢れていましたね。

上野君は森田君と一緒に走り、最後の記念撮影でも一緒に走りました。

伴走された保護者の方は次の日筋肉痛だったのではないのでしょうか。子どもたちが社会とつながるスポーツイベントへのご参加、ありがとうございました。

(児童生徒部 合田佐和)



## 学校生活アンケート・交流及び 共同学習報告

今年度も6月と11月に「学校生活アンケート」を実施しました。このアンケートは、児童生徒が学校生活を送る中でどのようなことを感じているのかについて、率直な気持ちを伝えてもらうために行っています。今年度は新型コロナウイルス感染症対策のため、多くの行事が中止や規模縮小など例年と違う形で行ってきたこともあり、生徒会活動が少なかつたという意見がアンケート中にありました。このような意見を参考にしながら、できるだけ児童生徒の希望に寄り添えるように検討していきたいと考えています。

また、人権教育の一環として本校では、交流及び共同学習を行っています。普段経験することが少ない同世代の友だちと一緒に学習する機会として、近隣の学校（小学部は春野西小学校、中学部は戸波中学校）と実施しました。また、それぞれの居住地の学校とも、直接出会ったり、感染症対策としてテレビ会議を使ったり、できる方法を模索しながら実施しました。交流校と本校が共に相互の触れ合いを通じて、豊かな人間性を育むことを目的に活動することができました。

来年度以降も、保護者の皆さまに交流及び共同学習などで協力していただくことが多くあると思いますがよろしく願います。

(人権教育担当 久保浩平)

## 研究部より

令和2年度から令和4年度までの3か年の研究計画  
学びをつなぐ学校づくり計画  
『授業改善から教育課程の改善・充実へ』

今年度、研究部では、新たな3か年での研究計画の初年度として、『授業改善から教育課程の改善・充実』を目指して研究活動を行いました。

特に今年度は、授業づくりや授業改善の土台となる「児童生徒の力を丁寧に正確に読み解く力」を全教員で高め合っていけるように、少人数での研究グループ（小学部・高等部の教員を縦割りにしたグループ）を編成して、同じグループの教員の公開授業を参観し、その公開授業を基に授業研修を行ってきました。公開授業は、普段参観することが難しい他学部の授業を参観し、公開授業後の授業研修の中では、児童生徒一人一人の学びについて各グループの教員みんなで考え、改善案を出し、その改善案を次の授業の中で活かす、という授業改善のサイクルを意識できてきました。

また、児童生徒一人一人の力を正確に読み解くために必要な様々な

視点を、県外の特別支援学校で活躍されている先生からオンラインの研修で学ぶ機会ももち、実践につながる学びもできました。



今年度の取組は、教育課程の改善・充実につながる土台づくりとして行ってきましたが、今年度学んできたことを来年度も振り返ったり、つながりを意識して捉えたりできるようにしたいと思えます。そして、実際に学習指導要領に明記されている学びべき内容を児童生徒が学びやすいように具体化したり、日々の生活や将来と結び付けて考え、発展させていったりする力、また、児童生徒にどんな力が付いたのか、付いた力がどのような場面で活かされているのかといった学習を評価する力等、今年度の土台を基に教育課程の改善・充実へとつなげていくべき要素を、来年度以降しっかりと押さえながら、児童生徒一人一人の学びを充実させていけるように全教員で力を合わせて頑張っていきたいと思います。一年間、本校の研究活動にご理解ご協力いただき、ありがとうございます。(研究部長 笹方真佑)

## 表彰おめでとうございます

令和2年度高知県高等学校PTA連合会功労者として、西森里香副会長が表彰されました。

本校小学部入学以来、学校行事やPTA活動に積極的に参加され、サマースクール(ホテルでのランチ会)や、おしゃべり会の開催等、保護者の繋がりがづくりや活動の活性化に尽力されました。PTA会長を務められた3年間は、中国・四国地区のほか全国の大会等に、本校代表として参加し、本校の情報を発信するとともに、全国各県のPTAとも交流し、より参加しやすいPTA活動のスタイルの確立や行事などでの学校教育のバックアップ、保護者が行う防災の取組を進めるなど、本校のPTA活動の充実・発展に貢献されました。これらの功績が認められ、今回の表彰となりました。おめでとうございます。(教頭 原博子)

## あしがき

今年度は、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、保護者の皆さまには、例年以上に子どもたちの健康管理等に気を配っていただきました。

学年末懇談等でお伝えさせていただいていますが、コロナ禍でも子どもたちは、日々の学習や学校行事等に懸命に取り組み、それぞれが成長を見せてくれました。これが私たち教職員の励みになっています。保護者の皆さまのご理解とご協力に心から感謝しています。一年間ありがとうございました。(教頭 原博子)